

ブルンジ月報（２０２５年３月）

※以下は、ブルンジ主要メディア（RTNB、IWACU等）の記事取りまとめ。

1. 政治・外交

- ５～７日、ンダイシミエ大統領夫妻は赤道ギニアを訪問し、コンゴ（民）東部情勢の安定化等について意見交換を行った。
- １２～１５日、ンダイシミエ大統領夫妻はセルビアを訪問し、コンゴ（民）東部情勢について意見交換を行ったほか、農業、観光等の分野における９つの協定・覚書に署名した。
- １８日、ンダイシミエ大統領はボルグスタムＥＵ大湖地域担当特使による表敬を受け、コンゴ（民）東部情勢を中心に意見交換を行った。
- ３１日、ンダイシミエ大統領は米国の民間企業団による表敬を受けた。同企業団は２月上旬にンダイシミエ大統領夫妻が訪米した際、祈禱のための朝食会を主催。

2. 開発協力

- １８日、ＥＵはブルンジでコンゴ（民）難民の支援に従事するブルンジ赤十字社に対し、２０万ユーロの資金拠出を発表。同日にはボルグスタムＥＵ大湖地域担当特使によるンダイシミエ大統領への表敬が行われた。
- １０～１１日、駐ブルンジＥＵ諸国大使団（ＥＵ、白、独、仏、蘭）による援助サイト視察が行われ、同団はEnabel（白のドナー機関）の支援で中部ムランビヤ県に建設された医療施設や、独の支援等で首都ギテガ県に建設された青少年センターを視察した。

3. 経済

- ４日付で公表されたヘリテージ財団による「経済自由度指標（２０２５）」にて、ブルンジは全調査対象国１７６カ国中１７０位、サブサハラアフリカ諸国では４７カ国中４４位であった。同指標は調査対象国の財産権の保護、司法システムの機能、金融自由度、貿易自由度といった要素を数値化し、順位付けを行うもの。

以上